

現在の風景



高福寺を背に毛呂本郷方向を見た写真
(昭和47年2月ごろ) (松田太郎さん提供)

写真の橋は、「高福寺橋」といいます。写真は、高福寺側から毛呂本郷方面を写したものです。まだ住宅もそれ程多くない様子が見えます。数年後の昭和50年に橋の向こう側に上町保育園が建設され、この橋も昭和55年3月に架け替えられ現在の橋となりました。

徒然歳時記



江戸時代中期の俳人山口素堂が詠んだ「目には青葉山ほととぎす初鰹」という俳句にも登場する鰹。鰹は、季節とともに海をめぐる回遊魚で、日本では、太平洋沿岸に生息しています。夏に黒潮と親潮とがぶつかる三陸海岸沖辺りまで北上し、秋に親潮の勢力が強くなると南下します。南下するカツオは「戻り鰹」と呼ばれ、反対に北上するカツオは「のぼり鰹」と呼ばれます。この「のぼり鰹」の初物が、いわゆる初鰹として食卓に上ります。

初鰹が最ももてはやされたのは江戸時代で、歌舞伎の中にも初鰹を売り歩く魚屋が登場するほど、大衆文化に根付いていたようです。特に江戸の町では、「粋」の観念から初物が珍重され、「初物を食うと75日長生きする」といってナスやキュウリにいたるまで初物食いに夢中になったそうです。なかでも初鰹は、「750日」も長生きできるともてはやされたそうです。

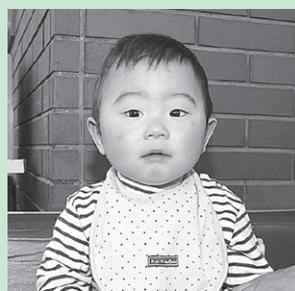
さて、青葉が芽生え、初夏の風薫る季節となりました。毛呂山町には、鎌北湖や滝ノ入オートキャンプ場周辺など青葉を感じる場所がたくさんあります。梅雨に入る前に、初鰹でも食べ、ホトトギスの声を聞きに青葉の散策に出かけてみてはいかがでしょうか。

わがやのアイドル



阿部 恭光ちゃん
(3歳5か月)

4月から保育園も3年目になり、ちょっとお姉さんぽくなったかな？ お外で遊ぶのが大好きで、冬には、初めてスキーにも行きました。ちょっとおてんばですが、我が家のアイドルです。



亀井 雄一郎くん
(1歳)

今月で1歳の誕生日を迎え、今ではあんよも上手になり、テクテクいつも歩いています！ これからの成長がますます楽しみです！

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。
申・問 役場秘書広報課 ☎(295) 2112 内線 332

広報もろやま 5月20日号 No.813 〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地
■発行 毛呂山町 TEL 049(295)2112 Fax 049(295)0771
■編集 秘書広報課広報聴係 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp>

人口 37,178人(+60人)
【男18,557人(+33人) 女18,621人(+27人)】
世帯 14,857戸(+88戸)
※平成20年5月1日現在(カッコ)内は前月比

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。